

今月の最新ニュース

「BCG経済モデル推進によるタイ投資機会について

C：循環型（Circular）経済 編

BCG（Bio-Circular-Green）経済モデルから、今回は「C：循環型（Circular）経済」を取り上げ、その現況と展望をご紹介します。

循環型経済とは、2015年にヨーロッパの経済政策として発表され広まった概念です。これまでの経済を循環のない「一方通行型モデル（linear economy）」と捉え、それに対立した概念として生まれた「サーキュラーエコノミー（circular economy）」を和訳したもので、「現在排出されている廃棄物を資源として繰り返し再利用し続けられるように循環の仕組みを構築する」事を目的とした新しい経済モデルです。

日本においても環境省が「令和3年度 環境白書」を皮切りに当用語を使用しており、認知度を徐々に向上しつつあります。

ところで世界において、一般的に循環型経済に不可欠なりサイクル技術が発達していると認知されている国は、ドイツ、スウェーデン、スイスそして日本とされています。そのような理由から、タイ企業は同分野における日本企業との技術連携に大きな関心を示しています。

今回はわかりやすい実例となるよう、実際に日本企業に求められていた同分野の技術ニーズの一部をご紹介します。

①

タイトル	循環型経済に対応するケミカル及びメカニカル分野におけるリサイクル技術の共同開発
募集企業	SCG ケミカルズ
募集企業概要	タイ財閥企業サイアム・セメント・グループ（SCG）の3つの主要事業（セメント建材事業、石油化学事業、製紙事業）のうちセメント事業を手がけるタイ最大級の総合石油化学企業
ニーズ内容	1. 循環型経済に対応した技術 ・ 廃プラスチックを産業資材や原料にリサイクルする技術 ・ 廃プラスチックのアップサイクル技術 ・ リサイクル可能な材料設計 ・ プラスチックと同等以上の特性を持ちながら、プラスチック含有量を低減する高性能素材の技術 2. 再生可能な素材・技術

	<ul style="list-style-type: none">・バイオベースの化学薬品や原料・プラスチック製品の生分解性を向上させる材料や技術
--	---

②

タイトル	再生可能エネルギーの技術パートナー
募集企業	PTT（タイ石油公社）
募集企業概要	天然ガス事業、石油事業を行うエネルギー関連の国営企業 タイ国内で最大の時価総額
ニーズ内容	下記要件に合致する技術パートナーの募集 <ul style="list-style-type: none">・アジア各国における再生可能エネルギーの投資先（太陽光や風力発電などを手掛ける企業で実績を持っていること）・現在の技術よりも効率的、または同じ性能を保ちながらより安価な再生可能エネルギー技術

③

タイトル	再生可能エネルギー技術に関するパートナー
募集企業	B.Grimm Power Public Company Limited
募集企業概要	1878年に設立された医療、エネルギー、建築・産業システム、不動産、eコマース、交通などに取り組むコングロマリット企業
ニーズ内容	<ul style="list-style-type: none">・新しい再生可能エネルギー（太陽光、風力）技術・再生可能エネルギー装置・再生可能エネルギーに関するコンサルティングサービス

* <https://tjri.org/>より引用

上記から、同分野においては日本の中小企業の先端技術がタイ大企業に採用される事も大いにありえると言えます。

最後に、循環型経済に関する BOI（タイ投資委員会）の恩典表を末尾に添付致します。

大阪産業局・タイビジネスサポートデスク 現地レポート

2023年4月

	循環型エネルギー・燃料	循環型プロセスから生まれた製品	廃棄物とリサイクル
A1 8年間法人 税免除 (上限なし)	・ごみまたはごみ固形燃料からの電気または電気・蒸気		・廃棄物の処理または処分
A2 8年間法人 税免除 (上限あり)	・農業廃棄物、ゴミ、廃棄物を原料とする燃料	・バージンプラスチックペレットと同等の特性を持つ再生プラスチックペレット ・研究機関等で開発されたリサイクルパルプ	・不要物のリサイクル・再利用
A3 5年間法人税 免除	・バイオマスブリケット（動植物等の有機物資源を原料としてつくるエネルギー燃料）	・リサイクルパルプ	
A4 3年間法人税 免除		・農業副産物または廃棄物 ・再生プラスチックペレット ・再生繊維 ・古紙パルプを原料とする製品	

* NC Biz Center 調べ